

豹江市

(2) 委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	生活支援の 課題を 考える部会	ペガサス 当事者部会	子ども部会
学識経験者		1			
医療関係者		0			
保健所		1			
教育関係機関		2			1
雇用関係機関		0			
企業		0			
障害当事者（ピアサポーター含む）		1		3	
家族・関係団体		1			
身体・知的障害者相談員		0			
相談支援事業者		0	8		
障害福祉サービス等事業者		4			8
社会福祉協議会		2			1
法曹関係者		0			
民生委員・児童委員		1			
地域住民		0			
行政職員（区市町村）		0			
行政職員（都）		0			
その他		1			
計		14	8	3	10

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

② 就労支援に関すること。

利用者、雇用者、就労移行支援、就労支援センターなどの連携について協議を行った。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

開設予定である日中サービス支援型GHの事業所から事業概要の説明を受け、課題の整理を行った。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援拠点の機能について協議を行った。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

⑤ 地域課題の整理

地域における課題の整理を行い、既存の資源を工夫して活用できるものがないのか検討を行っている。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

計画の進捗確認を行い、必要に応じて意見具申を行っている。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

相談支援体制の充実に向けた取り組みとして、限りのあるマンパワーである相談支援専門員のスキルアップも必要な役割であると考えます。

① 情報の顕在化

生活支援を考える部会において、相談支援専門員が受けた相談内容や解決困難な事例について報告され、顕在化され、地域課題の整理に活かしている。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

1回/年、相談支援員の質の向上のため、ファシリテーション研修を現在行っている。

⑧ 障害児支援

教育との連携を深めるため、事業所が学校と支援者会議の場を設けられるようにするなど、働きかけを行っていく。

④ 高齢福祉分野との連携

高齢分野のPSWを専門部会に呼ぶなどして相互理解を図れるような取り組みを行っている。

⑩ 就労支援

支援が必要な障がい者が支援者につながるように分かりやすいスキームを示したパンフレットを作成した。

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

計画相談支援事業所補助金を創設した。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

計画相談支援員のみではなく、居宅ヘルパーやGH職員など、障害福祉サービス事業所全体として人材不足が慢性化している。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等（複数回答）

③ 区市町村の担当部署と基幹相談支援センターが共同で事務局を担当するなど、基幹相談支援センターとの連携を強化した。

直営の基幹相談支援センターを設置。事務局機能を移し、機能強化を図った。

(2) 地域で生活する当事者の声の反映（複数回答）

① 当事者部会を設置している。（予定含む。）

当事者部会を設置している。

- ② 協議会の設置要綱等に当事者委員の数を規定し、全体会や部会に一定数の当事者が参画するようにしている。

全体会の委員として活動報告を行っている。

- ⑧ その他

地域で障がいにかかわる活動をしている方をお招きし、活動報告をする機会を設けている。

(3) ICTの活用（複数回答）

- ② 会議録作成等に、音声認識による文字起こしツールを活用

会議録を音声認識による文字起こしツールを活用している。

- ④ 会議資料をデータ配布、画面共有等により提供（紙を使用しない。）

会議資料をメールにて送付している。

5 地域移行・地域生活支援の取組

(1) 施設入所者・長期在院者等の実態把握（複数回答）

- ① 入所施設や入院先の病院に出向いて、本人や家族の地域移行の希望を調査

病院訪問時に長期入院者がいるか口頭などで確認をしている。

- ② 施設入所者や長期在院者等に対し、アンケート等を実施

不定期だが、病院に対してアンケート調査を実施している。

(2) 利用しているサービス等（複数回答）

- ① 相談支援（地域移行支援など）

地域移行支援を利用するケースがある。